

「保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会」

四万十川

下田

竹島

講演会

四万十市竹島出身・郷土の偉人

とき 2016年5月10日(火)
19:00~21:00

ばしょ 四万十市立 中央公民館 大会議室

講演 『佐竹音次郎の育児事業と高知人脈』

日本社会事業大学専任講師 佐竹要平 先生

～入場無料～

会場は先着120席までとなりますので、お早めにご来場下さい。19時00分～30分間は定期総会ですがこちらもご参加下さい。



昨年、四万十市で発足した「保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会」(通称：音次郎会)の定期総会・講演会が上記のとおり開催されます。

佐竹音次郎は今から152年前、現在の四万十市竹島の農家宮村家の四男として生まれました。時代は明治維新。黒船来航から新しい時代を迎えるべく、坂本龍馬や新撰組などが活躍していた頃に、この幡多地区にも新しい道を切り開いていこうとする人達が多くおり、その活躍を見ながら育ちました。そのような環境から自分の信じる正義のために命をかける生き方を学んだのが音次郎です。

音次郎は下田小学校の教員を経て上京し巢鴨小学校長となりましたが、理想とする道を追い求め軍人を目指したり、法律専門学校に入学したりしました。その後、医学校に入学して30歳で医師になりました。

子ども連れの患者に出会い母親の治療の間、音次郎がその子どもを預かり世話をするようになり、それをきっかけに小児保育院の看板を掲げて保育事業を始めました。この時、「保育」という言葉が日本で初めて用いられました。それ故、佐竹音次郎は「保育の父」と呼ばれる事になりました。

講師の佐竹要平先生は、佐竹音次郎のひ孫で社会事業の歴史について研究されています。今回、日本の近代化の時代に高知から東京に出て、慈善事業・社会事業に身を捧げた佐竹音次郎の業績を、板垣退助や幸徳秋水等々の高知にゆかりのある人々との関わりから語ってくださいます。

どうぞ、今からご予約に加えて、お誘い合わせの上、ご参加ください。

主催 保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会

後援 四万十市 四万十市教育委員会

お問い合わせ

〒787-0155 四万十市下田2211

保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会 事務局

☎0880-33-0247 (若草園内 瀬戸または寺田まで)